

特集「デジタルトランスフォーメーションを加速する コンピュータセキュリティ技術」の編集にあたって

盛合 志帆^{1,a)}

データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズをもとに、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するデジタルトランスフォーメーションの動きが加速している。一方で、個人情報をはじめとした生活に関わるあらゆる情報がネットワーク上を流通してクラウドやスマートフォン上で管理・処理されるようになり、機密情報や個人情報などをターゲットとしたサイバー攻撃もその手口が多様化・高度化している。このような環境の中、日々の生活で欠かせないよりよいサービスを実現できるよう、コンピュータセキュリティ技術は、攻撃に対応するだけにとどまらず、新たな価値を創造する基盤技術として日々の技術革新が求められている。

本特集号は、デジタルトランスフォーメーションを加速するコンピュータセキュリティ技術について、基礎理論、プロトコル、アーキテクチャ、ソフトウェアシステムの研究、およびそのアプリケーション、実装例、管理運用、さらには行動科学や社会科学的考察をも含めた課題と解決策を広く深く議論することにより、社会インフラとしてのセキュリティ技術の進展に寄与することを目指して企画された。

本特集号では、36件の論文が投稿され、特集号編集委員会による慎重な審議を経て、英文論文11件を含む22件の論文が採択された。採択率は61%であり、近年の特集号の採択率に比べ比較的高い採択率となった。これは、ひとえに本特集号の編集委員および査読者による的確な著者への助言と、著者の方々による真摯かつ適切な対応の賜物であり、この場を借りて深い感謝を申し上げたい。

さらに本特集号では招待論文として、三菱ケミカルホールディングスの浦本直彦氏に、デジタルトランスフォーメーションに潜むチャンスとリスクについて執筆いただいた。本論文の掲載が、IT技術の活用による新しい製品サービスやビジネスモデルを安全に構築していく際に貢献できれば幸いである。

特集号の編集にあたり、限られた時間の中で、質の高い査読と編集作業を経て、予定どおり出版までたどりつくことができたのは、編集委員、査読者、招待論文執筆者、学会関係者の方々の多大なご尽力のおかげであり、厚く御礼を申し上げたい。特に、渡邊裕治幹事（日本IBM）、高橋健一幹事（鳥取大学）には、特集号編集委員会の中心として献身的にご尽力いただいた。心より感謝申し上げたい。

「デジタルトランスフォーメーションを加速するコンピュータセキュリティ技術」特集号編集委員会

- 編集委員長
盛合志帆（情報通信研究機構）
- 幹事
渡邊裕治（日本IBM）
高橋健一（鳥取大学）
- 編集委員
五十嵐大（NTT）、市野将嗣（電気通信大学）、猪俣敦夫（東京電機大学）、越前 功（国立情報学研究所）、大木哲史（静岡大学）、大東俊博（東海大学）、大山恵弘（筑波大学）、加藤岳久（東芝）、金岡 晃（東邦大学）、川口信隆（日立製作所）、菊池浩明（明治大学）、佐々木良一（東京電機大学）、島岡政基（セコム）、白勢政明（公立はこだて未来大学）、須賀祐治（IIJ）、高倉弘喜（国立情報学研究所）、寺田雅之（NTTドコモ）、寺田真敏（日立製作所）、鳥居 悟（富士通研究所）、中西 透（広島大学）、西垣正勝（静岡大学）、野島 良（情報通信研究機構）、畑田充弘（NTTコミュニケーションズ）、松浦幹太（東京大学）、水木敬明（東北大学）、三村 守（防衛大学校）、毛利公一（立命館大学）、森 達哉（早稲田大学）、矢内直人（大阪大学）、山内利宏（岡山大学）、山田 明（KDDI総合研究所）、吉岡克成（横浜国立大学）

¹ 国立研究開発法人情報通信研究機構
National Institute of Information and Communications
Technology (NICT), 4-2-1, Nukui-Kitamachi, Koganei,
Tokyo 184-8795, Japan

a) shiho.moriai@nict.go.jp

（所属は2018年5月時点）